

科目名	公衆衛生看護学課題研究Ⅲ Special ResearchⅢ in Public Health Nursing		担当教員 (研究室番号)	清水 真由美 (408)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修 年次	2年次 後期	科目 区分	専門科目		選択 区分	分野 必修	単位数 (時間)	4 (60)	授業 形態	特別研究	科目等 履修生 遠隔授業	否 一部
科目 目的	自己の課題について研究的視点から考察し発表することにより、今後の臨地における研究活動の土台とする。											
ディプロ マ・ホリ ゾン (DP)	主要なDP	6. 看護実践の場における看護専門職者や看護学生に対する教育能力を修得している。										
	関連する DP	3. 地域の特性や変化する社会のニーズを的確に捉え、看護学教育および実践看護学に関する課題を追及していきける研究能力を身につけている。										
到達 目標	<ol style="list-style-type: none"> 得られた結果を整理して図や表等により提示することができる。 分析した結果を考察し、課題論文としてまとめることができる。 課題論文としてまとめた内容を学内の論文発表会で報告し、質疑に回答することができる。 											
成績評価方法 (基準)	課題論文 (80%)、論文発表会での発表 (20%)											
教科書	特に指定しない。											
参考書等	必要時に提示する。											
受講者への メッセージ												
備考	論文審査および最終試験に申請し、この合格をもって本科目の単位修得とする。											
学 習 内 容												
<p>【到達目標 1 について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 得られた結果を分析し、結果を導き出す。 結果については、必要に応じて図や表を作成する。作成にあたっては第三者からも理解できる内容にするように努める。 <p>【到達目標 2 について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 文献をもとに結果を考察し、明解で一貫性のある課題論文としてまとめる。 <p>【到達目標 3 について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 課題論文をもとに学内で発表する内容をパワーポイントの資料として作成する。資料中に用いる図や表などは発表会に適した様式に修正する。 <p>【各到達目標の共通事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> 結果の分析や論文作成の過程では、論文指導教員等から指導や助言を受けながらより完成度の高いものにしていく。 												